



21世紀



学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和7年3月24日

卒業式、4名が巣立ちました。



卒業生だけでなく、在校生も頑張りました！

3月19日(水)、無事、卒業式を終え、4名の卒業生を見送ることができました。

学校で一番大切な式であることは、在校生にも伝わっていて、前日の準備から当日の式、終わった後の片づけまで、立派な態度で頑張ることができました。卒業生はもちろん、在校生の1年間の成長を嬉しく感じる一日となりました。

卒業式の「門出のことば」では、卒業生と在校生が向き合って、思いを伝え合ったり、歌を歌ったりする場面があります。私は、このやりとりがとても大好きで、大切な儀式だと思っています。

その中で、6年生は在校生に「皆さんでさらに良い後閑小をつくってください」と伝え、在校生は、「明日からは、私たちの手で素晴らしい伝統を受け継ぎ、後閑小学校をよりよくするために一生懸命努力します」と答えます。

この引き継ぎによって、在校生の顔つきがたくましくなり、心がぐっと膨らんだように、私は感じました。

6年生が立派に卒業証書を受け取り、巣立っていく姿を見た5年生は、1年先の自分の姿を重ねたことでしょう。次は、自分たちの番です。1年かけて、あの姿に追いつく、追い抜くことを目標にして取り組む新6年生の活躍が今から楽しみです。



明日は、修了式。1年間、よくがんばりました。



在校生12名がそろって、修了証書を受け取ります。1年間の学びと成長が綴られた「あゆみ」も受け取ります。まずは、1年間の学校生活をやり終えたお子さんを、しっかり褒めてあげてください。そして、1年間を振り返ったとき、もっと頑張ればよかったと思うことがあるなら、春休みの間に取り組んだり、4月から始まる新しい学年で挑戦したりしようと、励ましてあげてください。

春休みは、お子さんがご家庭で過ごします。家庭生活を学べるチャンスです。お手伝いなど、今までできなかったこと、させてなかったことを任せてみるのはどうでしょう。初めはうまくいかないでしょうが、叱らず、見守り、やる気を潰さないように育てることが大切です。大人になるまでに、「自分のことは自分でできるようにする」のが、家庭教育の役割だと考えます。

最後になりましたが、保護者の皆様には、1年を通して、学校にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。新年度からも、引き続き、お力をお貸しください。よろしくお願いいたします。